

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 216 2010年 2月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

<http://heiwatutiura.web.fc2.com/>

百里初午祭（2/11）今年も盛会



平和公園展望台より 山口理事撮影



百里稲荷の歴史を語った松原日出男さん



母連土浦の駄菓子・小物模擬店が好評

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています
平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかま たちに伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

百里基地はいま

百里基地については茨城県平和委員会が発行した何種類かのリーフレットやパンフレットがある。それによると航空自衛隊の第7航空団204飛行隊、305飛行隊のF15戦闘機40数機と501偵察飛行隊のファントム約30機が配備されている。練習機5機とあわせて約80機が常駐していることになる。これは全国一の強力基地であり、偵察隊は日本の領空全域の偵察を任務として46時中各地に展開しているといえます。この基地に米軍の戦闘機が日米共同訓練という名目で毎年やってきます。

茨城空港はどんな役割？

この過密な基地に滑走路が1本しかないばかりか、緊急時に使用する誘導路がくの字に曲がっているという異常な状態のまま1965年から45年間も使用されてきました。この基地を民間共用にする計画がもち上がったのは1992年の夏のことでした。最初のころ防衛庁は共用化に難色を示していましたが、内心ではもう1本の滑走路が欲しいと言うことは明らかでした。当時の茨城県知事竹内藤男氏の熱心な陳情にたいして異論があるはずもありません。新滑走路との間隔が210メートルしかないという規格はずれの計画にもかかわらず、地元の反対運動を押し切って計画は進められました。「新滑走路は主に民間機、現滑走路は主に自衛隊機が使う」という合意があったというが、新滑走路には計器着陸装置を設置するスペースがなかったので、悪天候時に民間機が現滑走路を使うということになっている。しかし、民間機の使用が少なければいつでも自衛隊機が新滑走路を使うことができるということにもなるのです。

空港運営はどうなるのか？

この茨城空港の建設整備費は250億円、ターミナルビルなどの関連費用を合わせると550億円になると言います。さらに、搭乗率保障費はいくらかかるかわかりません。昨年10月にはターミナルビルの運営で県開発公社は年間最大1億円の赤字になるという見通しを示しました。

空港の利用がなければ自衛隊と米軍が思う存分利用することができて、運営の赤字は県民の負担になると言うことは納得できません。国の責任を問うとともに、これ以上危険な自衛隊、米軍の利用をやめさせる運動が必要でしょう。

5月の国連軍縮会議 NPT再検討会議にむけて

「核兵器のない世界にむけての国際署名」

2月27日（土）13時～14：30

土浦駅ペDESTリアンデッキ で～す

活動ごよみ

2・7 憲法九条の会うたごえ広場
 2・11 百里平和稲荷初午祭
 2・17 平和の会理事会（コープ）

2・27 核廃絶署名統一行動（土浦駅）
 3・16 平和の会理事会（予定 コープ）
 3・21 核廃絶署名統一行動（土浦駅予定）

平和の会ニュース、平和かわら版（PDF版）配信しています
 平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122
 早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください